

山本（宗一）の不等式[†]について

山本宗一氏の訃報に接し、彼を偲んで本不等式を紹介しておく。（2014年11月8日）

山本の不等式． $n \geq p \geq 0$, $a_{ij} \geq 0$ について、次の不等式が成立する。

$$\prod_{i=1}^n \sum_{j=1}^m a_{ij}^p \geq \left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij} \right)^p$$

証明．（当時の山本宗一氏による証明）

まず、 $A_{ij} = \frac{a_{ij}}{\left(\sum_{j=1}^m a_{ij}^n \right)^{1/n}}$ とおけば、 $\sum_{j=1}^m A_{ij}^n = 1$ である。

n 次の相加相乗平均の不等式から、 $A_{1j}^n + A_{2j}^n + \cdots + A_{nj}^n \geq n A_{1j} A_{2j} \cdots A_{nj}$ ．ここで、両辺の $\sum_{j=1}^m$ をとって

$$\sum_{j=1}^m A_{1j}^n + \sum_{j=1}^m A_{2j}^n + \cdots + \sum_{j=1}^m A_{nj}^n \geq n \sum_{j=1}^m A_{1j} A_{2j} \cdots A_{nj}$$

よって

$$1 \geq \sum_{j=1}^m A_{1j} A_{2j} \cdots A_{nj} \geq \left(\sum_{j=1}^m A_{1j} A_{2j} \cdots A_{nj} \right)^n .$$

すなわち

$$\begin{aligned} 1 &\geq \left(\sum_{j=1}^m \frac{a_{1j}}{\left(\sum_{j=1}^m a_{1j}^n \right)^{1/n}} \times \frac{a_{2j}}{\left(\sum_{j=1}^m a_{2j}^n \right)^{1/n}} \times \cdots \times \frac{a_{nj}}{\left(\sum_{j=1}^m a_{nj}^n \right)^{1/n}} \right)^n \\ &= \left(\sum_{j=1}^m \frac{a_{1j} a_{2j} \cdots a_{nj}}{\left(\sum_{j=1}^m a_{1j}^n \right)^{1/n} \left(\sum_{j=1}^m a_{2j}^n \right)^{1/n} \cdots \left(\sum_{j=1}^m a_{nj}^n \right)^{1/n}} \right)^n . \end{aligned}$$

これは以下のように同値変形されてゆく。

$$1 \geq \frac{\left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij} \right)^n}{\prod_{i=1}^n \sum_{j=1}^m a_{ij}^n} \iff \prod_{i=1}^n \sum_{j=1}^m a_{ij}^n \geq \left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij} \right)^n \quad (*)$$

ここで、次の補題を用意しておく。

[†]山本宗一（1953.11.21–2014.8.10, 名古屋大数学科 → 野村総研）氏が1975年（土佐高校2年）のときに示した。当時、月刊誌「大学への数学」でも、特別なケースについて山本宗一氏の投稿が紹介されていたと思う。

<補題> . $1 \geq r > 0$, $x_j \geq 0$ について, 次の不等式が成立する。

$$\left(\sum_{j=1}^m x_j^r \right)^{1/r} \geq \sum_{j=1}^m x_j$$

補題の証明.

m により帰納法を用いる。 $m = 1$ のときは, 明らかに成立しており, $m - 1$ までは OK とする。

$$f(x) = x^r + \sum_{j=2}^m x_j^r - \left(x + \sum_{j=2}^m x_j \right)^r \quad \text{とおけば, } f'(x) = r \left(x^{r-1} - \left(x + \sum_{j=2}^m x_j \right)^{r-1} \right) \text{ であり,}$$

$1 \geq r > 0$ より, $f'(x) > 0$ である。

よって, $f(x)$ は単調増加であり, 帰納法の仮定 ($m - 1$ まで OK) から

$$f(0) = \sum_{j=2}^m x_j^r - \left(\sum_{j=2}^m x_j \right)^r \geq 0$$

であるので, $x \geq 0$ で $f(x) \geq 0$ が成り立つ。ここで, $x = x_1$ とおけば, 余不等式が成立する。 ■

ここで, (*) の右側の不等式において, a_{ij} を $a_{ij}^{p/n}$ で置き換えれば,

$$\prod_{i=1}^n \sum_{j=1}^m a_{ij}^p \geq \left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij}^{p/n} \right)^n = \left(\left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij}^{p/n} \right)^{n/p} \right)^p$$

この右辺は, $1 \geq p/n \geq 0$ であることから, 先ほどの補題を, $()^p$ の中に適用して

$$\left(\left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij}^{p/n} \right)^{n/p} \right)^p \geq \left(\sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n a_{ij} \right)^p$$

以上のことから, 与不等式は示された。 ■

山下のコメント.

一般のベクトル空間において, $\vec{x}_i = (x_{i1}, x_{i2}, \dots, x_{im})$ の間に,

$$\vec{x}_1 \cdot \vec{x}_2 \cdots \vec{x}_n = \sum_{j=1}^m \prod_{i=1}^n x_{ij}$$

と定義されるような内積 のようなもの が意味を持つようなものであれば, この不等式が有用になるのではと夢想する。